

Annual Report 2021 年次報告書

2021 年 1 月～12 月（2022 年発行）

大阪ユニセフ協会

Osaka Association for UNICEF

unicef  for every child

目 次

I.	組織概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II.	2021年1月～12月 事業と運営の概要・・・・・・・・	2～6
III.	2021年度収支決算書・・・・・・・・	7
IV.	役員名簿・・・・・・・・	8
V.	規約・・・・・・・・	9～12
VI.	運営組織・・・・・・・・	13
VII.	ユニセフ協力協定図・・・・・・・・	13
VIII.	ボランティア・・・・・・・・	14

【注】この年次報告書は大阪ユニセフ協会の2021年1月～12月の状況について記述していますが、IV役員名簿は2022年6月末現在の名簿を掲載しています。

I. 組 織 概 要

名 称	大阪ユニセフ協会 2011年4月1日 日本ユニセフ協会大阪支部を改称
目 的	公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結び、 大阪府を中心にユニセフ協力事業を実施する
設 立 日	2001年(平成13年)8月1日
代 表 者	会長 出田 善蔵
事 務 所	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F 火曜日から土曜日(祝日を除く) 午前11時から午後4時
電 話	06-6645-5123 FAX 06-6645-5124
E-Mail	un@unicef-osaka.jp URL https://www.unicef-osaka.jp
役 員	顧問 3人、理事 41人、監事 2人(2022年6月末現在)
会 員	個人会員100人、団体会員10社(2021年12月末現在)
ボランティア	132人(2021年12月末現在)
主な事業活動	
(1) 広報活動	ユニセフ大阪通信の発行 ホームページ、SNS 学校等への学習協力 セミナー、学習会の開催 視聴覚教材の貸出し 写真展の開催
(2) 募金活動	チャリティイベントの開催 協力団体イベントへの参加、協賛 ハンドインハンド募金 街頭募金(愛称:アリス募金) 募金の受付、募金協力への対応

Ⅱ. 2021 年 1 月～12 月 事業と運営の概要

年初より緊急事態宣言が発出され、事務所の閉室が複数回にわたりました。コロナ感染症蔓延防止のため、安全を第一に主催行事の多くを中止し、他団体主催イベントにも不参加となりました。事務所の開・閉室の状況は次の通りです。

閉室期間：1 月 13 日～2 月 28 日、4 月 9 日～5 月 31 日、8 月 2 日～9 月 30 日

閉室時間：従来の 11 時～16 時から 13 時～16 時に変更

そのなかで実施された活動は以下の通り。

1. 広報活動

□「ユニセフ大阪通信」を 2 月、5 月、9 月、12 月に各 4,500 部発行。巻頭記事として「新型コロナに覆われた世界で」を 2 回連続し、ミャンマーとジャマイカのコロナ感染状況、ならびに子どもたちへの影響を伝えました。また 9 月発行の 83 号では、8 月の「終戦の日」関連として、学童疎開の語り部として活動する 87 歳の女性から体験談を聞き、84 号ではアフガニスタンの情勢について、近畿大学国際学部准教授の桑名恵先生から現地経験を踏まえて見解をお聞きしました。各号の表紙と巻頭記事は大阪ユニセフ協会ホームページに転載され、広報に利用されています。

□ ホームページは原則として毎月、担当ボランティアが更新しています。また若い世代を中心に普及している SNS を活用し、フェイスブック、インスタグラムでの随時発信を行っています。

□ ユニセフ写真展は、広報活動の一環として積極的に展開しています。テーマとして、新型コロナ感染症の世界的な蔓延と子どもたちへの影響、SDGs にかかわりのある展示が増えています。展示場所は大阪府下の図書館や公民館、大規模商業施設や金融機関のロビーなどご提供いただき、継続的な開催によって一般への広報を図っています。テーマは以下の「2. 主なイベントの実施」写真展の項をご参照ください)

2. 主なイベントの実施

コロナウイルス感染症予防のため、ほとんどの活動が中止となりました。以下 ○＝ 主催イベント、●＝ 他団体主催イベント、V＝ 当日または期間中の参加ボランティア数

実 施

○ユニセフセミナー 大阪 2021 7 月 31 日 大阪市中心公会堂 大会議室で開催。

テーマは「激変する世界を生きる 子どもたちはいま 一課題解決へ、一歩踏み出す勇気を一」とし、二人の講師からお話を伺いました。お一人はユニセフ職員で教育専門官の近藤智春さん（オンラインで参加）から「ユニセフ支援最前線アフリカ 求められる教育の普及」を、もう一方は若手起業家でユーチューバーの津田佳和さんから「子どもたちの未来につながる SDG s 経営、ESG 投資」でお話いただきました。近藤さんはアフリカを、津田さんは中米の経験を基に SDG s の視点から課題をとらえ、その解決への道を考えました。2 つの講演はオンラインで行われ、参加は会場とオンラインの 2 通りとし、初の完全オンライン実施に若手ボランティアが奮闘しました。参加者 60 余名。

○ユニセフシアター第1回「風をつかまえた少年」上映会 11月3日 ピースおおさか講堂

子どもの権利条約採択30年を機に、日本ユニセフ協会が実施した映画会シリーズ「子どもの世界」から1作品を選び実施。大阪府教育委員会推薦。内容はアフリカ・マラウイの干ばつが続く農村を舞台に、自力で風力発電装置を作り、家族や村の困窮を救った少年の、実話に基づくストーリーです。映画鑑賞ののち、大阪暁光高校の生徒による、気候変動に関する発表が行われました。映画と高校生による発表という新しい試みとなり、観客からは熱い拍手が送られました。参加者76名。

【通年】

●四天王寺 縁日での広報、募金活動（各日V2～5人）

1/21、2/21、2/22、3/20、3/22、6/21、6/22、7/21、7/22、8/21、8/22、9/21、9/22、9/23、10/21、10/22、11/21、12/21、12/22

○● ユニセフ写真展（参加V数は1回の開催で2～3人）

写真展は大阪独自の企画です。テーマの設定、写真選定、プリント、パネル制作まで当協会のボランティアがすべて行っています。テーマは、紛争や災害、児童労働、水、衛生など多岐にわたり、最新の世界情勢とユニセフ活動を連動させた内容で、わかりやすく伝える工夫をしています。今年は新型コロナ感染症に関するテーマが関心を集めています。

写真展開催一覧

期間	会場名または催事名	テーマ	期間	会場名または催事名	テーマ
4/16～5/19	大阪市立中央図書館	コロナと闘う世界の子ども	11/3	ピースおおさか	水・食糧危機
4/24～5/9 (中止)	スカイビルタワーイースト3F（こどもの日チャリティイベント）	〃	11/11～25	千里図書館	コロナ禍における世界の子どもたち
5/25～6/6 (中止)	枚方市立香里ヶ丘図書館	〃	12/1～28	堺市立中央図書館	COVID-19パンデミックと世界の子どもたち
7/28～8/6	堺市役所	COVID-19パンデミックと世界の子どもたち	12/8～21	あべのハルカス	COVID-19パンデミックと世界の子どもたち
7/19～9/3	大阪シティ信用金庫 枚岡支店	COVID-19パンデミックと世界の子どもたち	12/23～1/16	伊丹市ラストホール	SDGsとユニセフ

開催中止・他団体イベントへの参加中止

- ユニセフ新春交流会（1月）
- ユニセフチャリティウオーク（4月）
- ユニセフ・チャリティコンサート（9月）
- ユニセフ・チャリティバザー（10月）
- ワン・ワールド・フェスティバル

- 「なにわ人形芝居フェスティバル」
- 「御堂筋ふれあいバザー」
- 「大阪市こどもカーニバル 2021」
- 「こどもの日チャリティイベント」(写真展も中止)
- さかい福祉まつり
- 夏休み親子エコ祭り
- 「鶴見緑地フェスタ」
- 「長居アートステージ」
- 「堺西区ふれあいまつり」
- 街頭募金活動(呼称:アリス募金)
- コンサートホールほか、ご提供会場での広報・募金活動(1開催参加V2～5人)

3. 学習協力活動(出前授業)の状況

学校からの申し出は「学習協力依頼票」により受付けて、日程調整をして担当者を決め、生徒たちが学習する内容については学校側と事前に打合わせをしています。出前授業は学校への訪問と事務所への来室が主流ですが、今年はコロナ感染症の影響からリモート授業の要請も数件ありました。

2021年1月～12月実績(出張・来室は件数、貸し出しは本数)

出張	来室	オンライン	本年合計	前年	摘 要
29	2	5	36	28	小19、中6、高7、大2、その他(イベント含む)2
DVD貸出し	パネル貸出し		合計	前年	DVD貸出しにはビデオ貸出しを含む
5	1		6	14	幼0、小2、中2、高0、大0、その他1 うち他府県0

インターンシップは大学生11名(大阪教育大生6名、龍谷大学生3名、大手前大学生1名、英国大学生1名)を受け入れました。

◎大阪教育大学とのコラボレーション演習

本取り組みも3年目となり、2021年は前期に6名の学生を迎え実施されました。これは大阪教育大学の学生が大阪ユニセフ協会でのボランティア体験を通して、子どもの成長をサポートするスキルを身に付け、社会のさまざまな場面でキーマンとなって教育を支援してゆく人材の育成を目指すものです。半年間で1人当たり30時間のボランティア体験をし、期間終了後は単位取得となります。

活動期間:2021年2月～11月

演習内容:四天王寺での募金活動、出前授業の補助と見学、勉強会参加、写真展の展示作業
ユニティブの活動に参加、「ユニセフセミナー大阪」への参加、事務所での作業

4. 募金の状況

2021 年 1 月～12 月実績

金額万円、件数は振込件数

	個 人		団体・企業		学 校		小 計		当協会 活動	合計
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額	金額
本年	91	90	15	910	9	23	115	1024	41	1066
前年	143	741	38	645	5	19	186	1406	150	1556

歳末恒例のハンド・イン・ハンド募金は 43 回目となりましたが、昨年に引き続きコロナ禍の影響により街頭募金は中止となりました。その代わりとして、ホームページ、SNS、郵送による募金をお願いし、学習支援を通じた子どもたちへの募金活動、店舗への募金箱の設置など、幅広くハンド・イン・ハンド活動を行いました。その結果、多数の方々から募金のご協力を受けることができ、募金総額は 292,992 円となりました。

2021 年 1 月～12 月には緊急募金活動はありませんでした。

5. ボランティアの状況

- ☐ 12 月末登録者 132 人。毎年 12 月末に 1 年間活動のなかった人について、本人の継続の意思を確認しています。
- ☐ 毎月最終水曜日にボランティア連絡会を任意参加（毎回 20 人前後が参加）で開催。イベントや各グループの状況報告、運営委員会からの報告事項の検討などをし、議事録を「ボランティアだより」にまとめ、メール、FAX、レターで発信して、情報の共有化を図っています。
- ☐ 若手ボランティアを中心に結成されたグループが、それまでの「サタボラ」から「ユニティ」へ名称を変え、活動を行っています。毎月第一水曜日夜に開く定例の勉強会のほか、これまで戦争に関する資料館への訪問（スタディツアー）や学童保育児童への出前授業など独自の企画を立て、実施しています。今年はコロナ禍のため、オンラインでの勉強会が中心でしたが、毎回さまざまな分野の講師を探し出し、知識を深める機会としています。7 月に開催されたユニセフセミナーはユニティ・メンバーの活躍によって、初の完全オンライン講演が実施できました。現在メンバーは 17 名。勉強会の内容は次の通りです。

ユニティ勉強会 (Zoom ミーティング) 開催一覧 2021 年 1 月～12 月

開催日	テーマ	開催日	テーマ
1 月 13 日	インスタセミナー	7 月 7 日	ユニセフセミナーについて
2 月 3 日	世界の教育 ミャンマー	8 月 4 日	コロナと医療
3 月 3 日	世界の教育 モロッコ	9 月 1 日	イギリスの文化・習慣・教育
4 月 7 日	大教大生のフィリピン研修報告	10 月 6 日	ドイツの文化・習慣・教育
5 月 12 日	ユニセフセミナーについて	11 月 10 日	自立援助ホームのこどもたち
6 月 2 日	ユニセフセミナー運営方法 検討	12 月 1 日	2022 年度の活動について

6. 会議の状況

- 運営委員会 毎月第二水曜日に事務所で開催。
現在は事務局長以下、各グループの責任者（ボランティア）など7人のメンバーが中心となって運営しています。イベントスケジュール表を作り、先々のイベント担当者を決め、スムーズなイベント進行実施を目指しています。また、当協会の活動状況を検討し、協会自体の活性化を図っています。その他、既存イベントの改良、活性化や新規イベントの開発等を検討しています。委員会で話し合われた内容はすべて月末に開催される「ボランティア連絡会」に報告し、ボランティア間での情報の共有を密にしています。
- ボランティア連絡会（前項5.「ボランティアの状況」を参照）
- 2021年協定地域組織オンライン事務局長会議 2月19日 Teams 利用によるWEB会議
全国26の協定地域組織から28名、日本ユニセフ協会17名が参加（大阪からは宮島事務局長と小山理事が参加）。日本ユニセフ協会各部から報告と計画発表、総務部、団体・企業事業部から報告と計画発表、各協定地域組織より活動報告がありました。
- 第22回理事会 3月25日／第11回定時会員総会 3月25日 いずれも難波市民学習センター研修室（OCATビル4階）で開催。
「2020年度事業と運営の概要報告、収支決算報告」「2021年度事業方針、事業計画、収支予算」「顧問・理事・監事選任、常務理事選任」の議案が原案通り可決、承認されました。
- 日本ユニセフ協会学習講師研修会 6月23日 オンラインで実施
全国26の協定地域組織から82名が参加しました。日本ユニセフ協会学校事業部による出前授業のプレゼンテーション例の紹介、地域組織参加者からの質疑応答が行われました。
- 西日本7地方組織合同学習会（セタネットワーク） 10月30日 オンラインで実施
2時間にわたり各地域組織と現状と課題について話し合い、情報を共有しました。
- 第23回理事会 11月25日 難波市民学習センター研修室
「2021年（1～9月）事業と運営の概要」「2022年度事業方針案、事業計画案、収支予算案」の議案が原案通り可決、承認されました。

以上

Ⅲ. 2021年度収支決算書

大阪ユニセフ協会

〔収入の部〕

単位： 円

		2021年度決算	摘 要
助成金収入	運営助成金	2,828,000	協力協定第5条に基づく助成金
	地域普及助成金	3,883,600	協力協定第6条に基づく助成金
	特別事業助成金	0	
	助成金小計	6,711,600	
会費収入		1,299,000	
寄付金収入		0	
雑収入		18	預金利息他
募金受入金		10,661,702	内学校募金受入金（235,911）
	収入小計	18,672,320	
前期繰越金		1,245,332	
収入合計		19,917,652	

〔支出の部〕

		2021年度決算	摘 要
事業費	催事費	146,011	事業計画による催事費用
	資料製作費	608,160	大阪通信、年次報告書等製作費
	旅費交通費	133,407	
	通信運搬費	657,266	大阪通信郵送代、事務所電話代、インターネット・HP費用ほか
	消耗品費	158,882	写真パネル作成費用ほか
	ボランティア費	520,640	ボランティア交通費、保険料
	アルバイト費	0	
	光熱水費	79,803	事務所空調費、電気代
	建物賃借料	1,300,800	事務所、4階倉庫使用料
	OA機器リース料	104,640	PCプリンター兼コピー機、セキュリティ機器リース料
	事務局スタッフ費	1,406,669	事務局スタッフ費用
	雑費	46,395	郵便口座募金振込手数料
	事業費小計	5,162,673	
運営費	会議費	20,670	理事会、総会会場賃料、事務所お茶代
	通信運搬費	0	
	消耗品費	308,490	一般文房具、封筒、コピー用紙、印刷代
	図書資料費	27,910	新聞代、参考図書購入費
	印刷製本費	0	
	光熱水費	39,902	事務所空調費、電気代
	建物賃借料	650,400	事務所、4階倉庫使用料
	OA機器リース料	52,320	PCプリンター兼コピー機、セキュリティ機器リース料
	備品購入費	167,373	大型4Kモニター1台、及び付属品購入
	旅費交通費	157,680	事務局スタッフ交通費
	事務局スタッフ費	703,331	事務局スタッフ費用
	雑費	4,785	銀行振込手数料ほか
	運営費小計	2,132,861	
	事業費・運営費小計	7,295,534	
募金払出金		10,661,702	
事業費・運営費・払出金小計		17,957,236	
次期繰越金		1,960,416	
支出合計		19,917,652	

IV. 役員名簿（敬称略、役職別、50 音順）

顧問

新堂友衛 大阪市体育協会会長
 藤 洋作 関西電力顧問
 姫野 勉 外務省特命全権大使（関西担当）
 （顧問 3 名）

会長・理事

出田善蔵 桃山学院大学理事長

副会長・理事

古野喜政 毎日新聞社社友

専務理事

常務理事

河村正雄 大阪シティ信用金庫会長
 田中宏和 連合大阪会長
 本荘武宏 大阪ガス取締役会長
 宮島登美子 日本テレマン協会理事
 宮本信之 関西電力執行役常務

理事

秋田拓士 近鉄百貨店代表取締役社長
 荒川哲男 大阪公立大学学長特別顧問
 生駒京子 関西経済同友会代表幹事
 伊東徹二 日本ボーイスカウト大阪連盟事務局次長
 上田恵子 国際ゾンタ 26 区エリア 3
 大阪 I ゾンタクラブ会長
 岡山伸子 NRB 日本理容美容専門学校理事長
 奥蘭みどり 大阪府国公立幼稚園・こども園長会会長
 折原真子 大阪市経済戦略局立地交流推進部部長
 川上 征 電通客員
 黒川浩明 大阪アーティスト協会会長

小林充佳 西日本電信電話相談役
 小山富美子 大阪ユニセフ協会登録ボランティア
 齋藤 明 三晃空調取締役会長
 辰巳砂昌弘 大阪公立大学学長
 タン ミッシェル 大阪府生活協同組合連合会会長理事
 辻 一郎 毎日放送客員
 西尾章治郎 国立大学法人大阪大学総長
 長谷川一明 西日本旅客鉄道代表取締役社長
 濱崎 寛 医療法人健正会理事長
 林 信 近鉄グループホールディングス
 常務執行役員

日渡 円 堺市教育委員会教育長
 堀井良殷 関西・大阪 21 世紀協会顧問
 堀岡 淳 NHK 大阪拠点放送局長代行
 松村 祥 ガールスカウト大阪府連盟連盟長
 松本陽子 大阪いずみ市民生活協同組合副理事長
 三林京子 女優・作家
 宮坂久美子 日本航空執行役員西日本支社長
 もず唱平 大阪国際平和センター特別顧問
 山中和貴 吉本アドミニストレーション
 代表取締役社長
 山本晋次 大阪市教育委員会教育長
 弓場美幸 大阪ユニセフ協会登録ボランティア
 吉川秀隆 大阪府国際交流財団理事長
 吉田憲司 国立民族学博物館館長
 和氣邦夫 元 ユニセフ東京事務所所長
 （理事 41 名）

監事

西馬正義 税理士
 信岡登紫子 弁護士
 （監事 2 名）

V. 規約

大阪ユニセフ協会規約

【大阪ユニセフ協会規約（2001年8月施行、2011年4月に全文改正）の第3章第11条を2017年3月に改正】

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、大阪ユニセフ協会という。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を大阪府大阪市浪速区湊町1丁目4番1号大阪シティエアターミナルビル2階に置く。

(目 的)

第3条 本会は、公益財団法人日本ユニセフ協会（以下「日本ユニセフ協会」という）との協力協定に基づき、大阪府において日本ユニセフ協会の定款目的の実現に協力することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、ボランティアの活動により、次の事業を行う。

- (1) ユニセフのための広報及び啓発事業
- (2) ユニセフへの募金協力事業
- (3) その他日本ユニセフ協会の定款目的の実現に協力する事業

第2章 会 員

(会 員)

第5条 本会の目的に賛同して入会した個人又は団体を会員とする。

(入 会)

第6条 会員として入会しようとするものは、入会申込書を会長に提出し、会長の承認を得なければならない。

- 2 会長は会員の申し込みについては、正当な理由がない限り入会を認めるとするが、入会を認めない場合は、理由を付した書類をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会 費)

第7条 会員は、別に定める会費を納入しなければならない。

- 2 会費は、本会の運営費に充当するものとする。

(資格喪失)

第8条 会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

- (1) 退会をしたとき
- (2) 死亡又は団体が解散したとき
- (3) 会費を1年以上滞納したとき
- (4) 除名されたとき

(退会及び除名)

第9条 会員は、別に定める退会届を会長に提出して、いつでも退会することができる。

- 2 会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、総会の議決により、除名することができる。
 - (1) この規約の規定に違反したとき
 - (2) 本会の秩序を著しく乱したとき

第3章 役員及び事務局

(役員)

第10条 本会に次の役員を置く。任期は2年とし、再任を妨げない。補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

- (1) 理事 40名以上50名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内

(選任)

第11条 理事及び監事は当該理事及び監事候補者を除く理事会において選任し、理事の中から互選で次の役職者を選任する。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 専務理事 1名
- (4) 常務理事 若干名

2 前項による理事及び監事の選任については、直後の総会により承認を受ける。

3 前項の総会の承認が得られない場合、当該理事または監事は総会の翌日から理事または監事の地位を失う。ただし、総会の日までに当該理事または監事が行った職務及び参加した理事会決議の効力に影響を及ぼさない。

(職務)

第12条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときにはその職務を代行する。
- 3 専務理事は、理事会の議決に基づき本会の常務を処理する。
- 4 常務理事は、理事会の議決に基づき必要に応じて本会の常務を処理する。
- 5 理事は、理事会を構成し、本会の業務を議決する。
- 6 監事は、本会の会計及び業務執行状況を監査する。

(顧問)

第13条 本会に理事会の議決により、顧問を委嘱することができる。

- 2 顧問は、会長の諮問に応え、会長に対して意見を述べることができる。

(事務局)

第14条 本会の事務を処理するために、事務局を設ける。

- 2 理事会の議決を経て、会長が事務局長を任免する。
- 3 必要に応じてスタッフを置くことができる。

第4章 総会

(構成)

第15条 総会は、会員をもって構成する。

(招集)

第16条 総会は、定時総会と臨時総会とする。

- 2 定時総会は、毎年1回事業年度終了後3ヵ月以内に会長が招集し、臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、会長が招集する。
- 3 総会の招集は、会日の2週間前までに、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、会員に通知しなければならない。

(議長)

第17条 総会の議長は、会長がこれに当たる。

(議決事項)

第18条 総会は、この規約に規定するもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 本会の事業計画と予算
- (2) 本会の事業報告と決算
- (3) その他本会の業務に関する重要事項で理事会において必要と認める事項

(定足数及び議決)

第19条 総会は、会員の過半数以上の出席がなければ、開会することができない。ただし、総会に出席できない会員は、書面により議決権を行使することができ、出席したものとみなす。

2 会員は、各1個の議決権を有する。

3 総会の議決は、この規約で別段の定めるもののほか、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(改 廃)

第20条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 会員の現在数及び出席会員の数（書面による議決者を含む）
 - (3) 審議事項
 - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、総会に出席した会員の中から選任された議事録署名人2名が、議長とともに署名押印しなければならない。

第5章 理事会

(構 成)

第21条 理事会は、理事及び監事で構成する。

(機 能)

第22条 理事会は、この規約で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(招 集)

第23条 理事会は、年2回以上会長が招集する。

2 理事会の招集は、会日の2週間前までに、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、理事及び監事に通知しなければならない。

(議 長)

第24条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(定足数及び議決)

第25条 理事会は、理事現在数の過半数以上の出席がなければ、開会することができない。ただし、理事会に出席できない理事は、書面により議決権を行使することができ、出席したものとみなす。

2 理事会の議決は出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第26条 理事会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在数及び出席理事の数（書面による議決者を含む）

- (3) 審議事項
 - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、理事会に出席した理事の中から選任された議事録署名人2名が、議長とともに署名押印しなければならない。

第6章 財産及び会計

(財 産)

第27条 本会の財産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄付金品
- (4) 事業に伴う収入
- (5) 財産から生じる収入
- (6) その他の収入

(財産管理)

第28条 本会の財産は、会長が管理し、その方法は理事会の議決を経て、会長が別に定める。

(事業年度)

第29条 本会の事業年度は、1月1日から12月31日までとする。

第7章 規約の変更及び解散

(規約の変更)

第30条 この規約は、理事会及び総会において、それぞれ理事現在数及び会員現在数の3分の2以上の議決を経なければ変更することができない。

(解 散)

第31条 本会は、理事会及び総会において、それぞれ理事現在数及び会員現在数の3分の2以上の議決を経て解散することができ、残余財産については日本ユニセフ協会に寄付するものとする。

第8章 補 則

(補 則)

第32条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関して必要事項は、理事会の議決を経て、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、財団法人日本ユニセフ協会が公益財団法人に移行した2011年4月1日から施行する。
- 2 第7条の会費は2011年4月以降、次の各号に掲げるものとする。

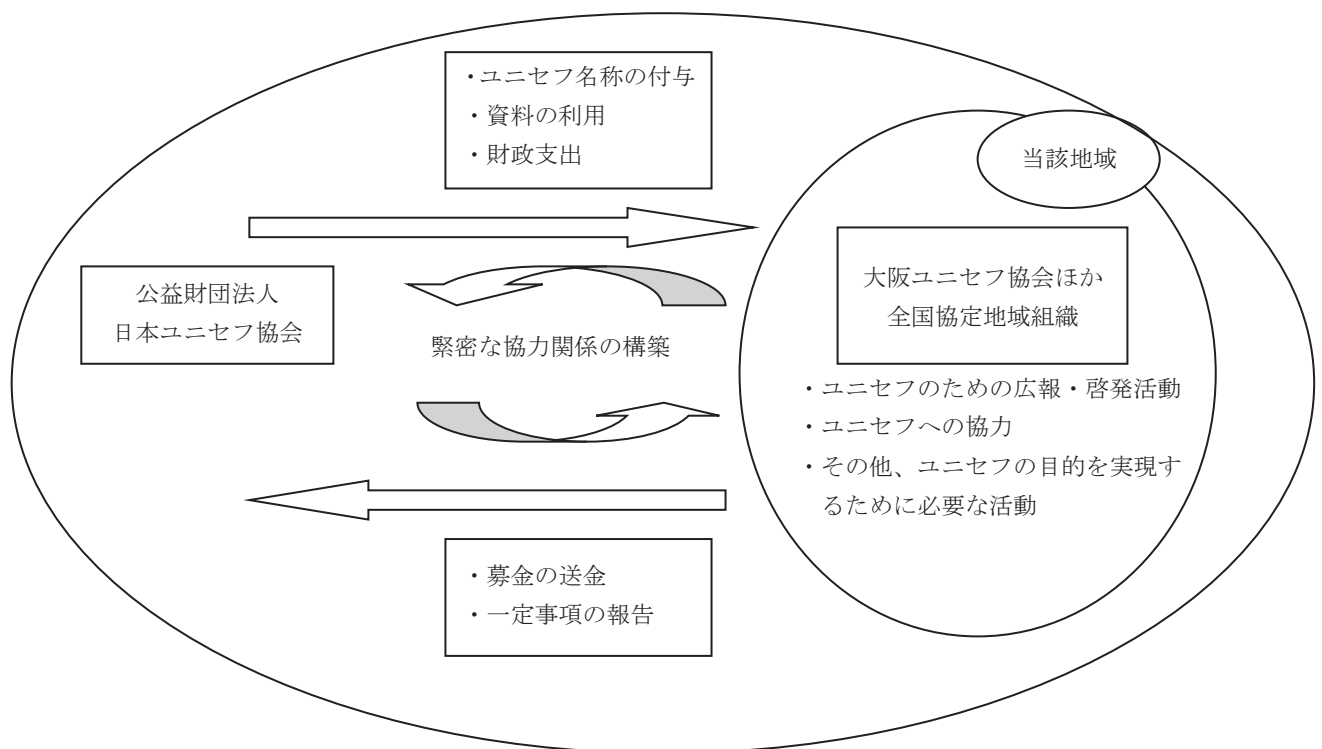
個人	1口	年額	3,000円
団体	1口	年額	100,000円

VI. 運 営 組 織

総 会	会員(個人会員、団体会員)
理 事 会	顧問、理事、監事
役付理事	会長、副会長、専務理事、常務理事
事 務 局	事務局長
ボランティア グループ	内部連絡、イベント統括、学習協力、写真展、 広報、庶務
会 議	運営委員会、ユニセフ大阪通信編集委員会、ボランティア連絡会

VII. ユニセフ協力協定図

【日本ユニセフ協会と大阪ユニセフ協会（全国協定地域組織）とは、指揮命令関係にあるのではなく、対等な契約当事者としてユニセフ活動を担うものです】



VIII. ボランティア

(1) 名称

大阪ユニセフ協会の事務局と事業活動はボランティアによって支えられています。
ボランティア登録者を「ユニセフ ボランティア」と呼びます。

(2) 登録

ボランティア志望者は事務局と面談のうえ「ボランティア登録票」を提出して、仮登録します。ボランティア活動に入ると、本登録としボランティア保険をかけます。

(3) ボランティア活動

ボランティア活動には、次の種類があります。必要に応じて活動の内容を説明します。月初めに翌月以降の「活動予定表」を送付しますので、お申込みください。

- (A) 事務所での活動 事務一般・パソコン処理、広報資料作成・発送、ビデオ等視聴覚教材の貸出し、イベントの準備など。
- (B) 事務所外での活動 音楽会会場などでの募金・広報活動、学校への学習協力、写真展、チャリティイベントへの参加など。

(4) 交通費の支給

報酬は支給しません。原則として活動場所への往復交通費実費を支給します。
多数参加のイベントの場合、参加費として一律 500 円を支給します。
ハンド・イン・ハンド募金活動については無償とします。

(5) ボランティア保険

活動中および活動場所への往復途上のケガなどの傷害に備えて、ボランティア保険をかけます。傷害事故が起きた場合、すみやかに事務局に連絡してください。

(6) ボランティア連絡会

毎月最終水曜日午後 1 時からボランティア連絡会を開催します。参加は任意です。
連絡会の議事内容は「ボランティアだより」でお知らせします。

(7) 送付物および行事への参加

毎月「ボランティアだより」、年 4 回「ユニセフ大阪通信」を送付します。
大阪ユニセフ協会主催の勉強会、講演会、新春交流会へ参加できます。なお、登録後に「ボランティア入門講座」を受講することをお勧めします。

(8) 登録の取り消し

- (A) 本人の申し出により取り消します。
- (B) 住所等の変更が届け出されず連絡がとれなくなった場合、取り消します。
- (C) 1 年間活動がなかった場合、継続の意向を確認した上で取り消します。

大阪ユニセフ協会の所在地図



大阪ユニセフ協会 大阪市浪速区湊町 1-4-1 OCAT ビル 2F
 電話 06-6645-5123 FAX 06-6645-5124

